

会社奮闘記 @東北

プロテイン多彩 全国区へ

仙台・エフアシスト 国内屈指メーカーに

プロテインの製造販売を手がけるエフアシスト（仙台市）は大手がしのぎを削る市場に2015年に参入し、国内屈指のメーカーに成長した。特徴は小ロット多品種の商品展開と、それとマッチした障害者施設への製造委託だ。プロテイン需要は従来の筋トレ愛好者だけでなく、長寿に備えるシニア層でも拡大が見込まれ、時流に乗って自社の成長と障害者の待遇向上の「二兎を追う」。

小ロット戦略奏功

「HIGH CLEAR 治や森永製菓などが群雄割拠（ハイクリアー）」と名付けたオリジナルブランドのプロテインを、売れ筋の1袋換算で年間約30万袋出荷する。参入からわずか8年。社員14人の小所帯ながら年商は9億円を誇る。

原料全て輸入

藤倉修一社長（45）は「明一パー（味）を用意。自社



プロテインの製造を担うのは障害者。役割を分担し、流れ作業で次々と仕上げている。宮城県七ヶ浜町の「はらから福祉会 みお七ヶ浜」

（報道部・大泉大介）

通販サイトには常時100近い商品を並べ、消費者の多様な要望に応える。

原料は全て米国や中国から輸入する。商社を通さな直接貿易や自社倉庫での保管によってコストを低減。商品の味や配合は管理栄養士の資格を持つ社員3人による内製を貫く。販売も消費者に直接届ける「直販」に軸足を置き、大手のお株を奪う高品質・低価格で売り上げを伸ばしてきた。

大手と差別化

エフアシストはスポーツ用品店社員から脱サラした藤倉社長が07年、パーソナルトレーナー（PT）として起業し、11年に法人化した。最初のヒット商品は伸縮性のあるトレーニングバンド「モビパン」。福祉施設やスポーツジムなどに1年間10万本を売り、販路を全国に築いた。



「お使い」を頼まれた経験がヒントになった。

原料となる輸入プロテイン。自社で輸入や保管を行うことで低価格につなげている。

大手メーカーと差別化を図りながら売れ残りを抱えない道として、小ロットで受託生産するBtoB（企業間取引）で創業。当初はターゲットを、施設名や個人名を冠したプロテインを作りたいスポーツジムやPTと定めた。他社だと「最低1トンから」の条件を2000として浸透を図った。

躍進のきっかけは高校野球だった。学校名が入った専用プロテインを野球用品大手セッツ（大阪市）と共同販売。チームが求める配合で仕上げ、現在も強豪校を中心に全国200以上のチームに届ける。

福祉作業所に製造委託

障害者待遇向上に力

エフアシストは、製造を宮城県内にある約20の福祉作業所に委託している。プロテインを買った人は健康になり、障害者は高い工賃と誇りを得て、会社も潤う。藤倉修一社長が目指すは「三方よし」の具現化だ。

ラベル貼りや箱詰めなどの作業は障害者の特性に合わせて分担している。加藤直三所長（39）は「1つの誤差もなく計量したり、商品ラベルをきれいに貼り付けたり、健常者には単調で苦痛なことがむしろ作るのが宿命だ。一方、障害者施設では短

持ち味生きる

水や牛乳などに溶いて飲む粉末のプロテインは、生産の大半を社会福祉法人はらから福祉会（宮城県柴田町）が担う。法人の事業所のうち、七ヶ浜町にある「みお七ヶ浜」には、エフアシストが工場を整備した。通所者23人と職員8人が工程に従事。配合や袋詰め

障害者は得意。プロテインづくりは障害者の持ち味が生きる仕事」と話す。エフアシストが得意とする小ロット多品種の商品展開について、藤倉社長は「障害者のおかげ」と感謝する。大手の場合、プロテインは工場生産するため最小ロットはトン単位。しかもコスト面から短時間で大量に作るのが宿命だ。

協業の成果は対価に直結した。県内の同種の就労支援事業所の平均月額工賃は1万8240円（21年度）なのに對し、みお七ヶ浜は6万円を超える。喜びは金銭だけではない。みお七ヶ浜の通所者が休日に出かけた仙台市の大型ディスカウント店で、健康食品売り場に並ぶハイクリアーを見つけたことがあった。「『これを作ったのは自分』と一緒に買った家族に自慢したようです」と加藤所長。人気商品を手がけ、働く喜びを高めている。



自社ブランド「ハイクリアー」の商品の前で「障害者の待遇改善にもっと挑みたい」と語る藤倉さん

共に歩み成長

藤倉社長は「三方よし」を具現化する自社商品を「ソーシャル（社会的）プロテイン」と呼び、さらなる浸透を目指す。

「持続可能な開発目標（SDGs）」という言葉が一般化する前から、障害者と共に歩んできた。ソーシャルプロテインの考え方を多くの人に理解してもらい、支えてもらえれば、工賃をもっと上げられる」と障害者に伴走する先に自社の成長を見据える。

社会の課題解決への貢献も掲げる。「培ったノウハウは例えばホットケーキミックスやたこ焼き粉にも応用できる。全国共通の課題である障害者の待遇改善にもっと力を尽くしたい」と意欲を燃やす。（随時掲載）